別　紙

新千歳空港旅客ターミナルビルの概要

1. 沿　革

昭和36年10月　当社設立

昭和38年　4月　旧千歳空港ターミナル　供用開始

平成　4年　7月　新千歳空港旅客ターミナルビル　供用開始

平成22年　3月　新国際線ターミナルビル　供用開始（連絡施設2階部分供用開始）

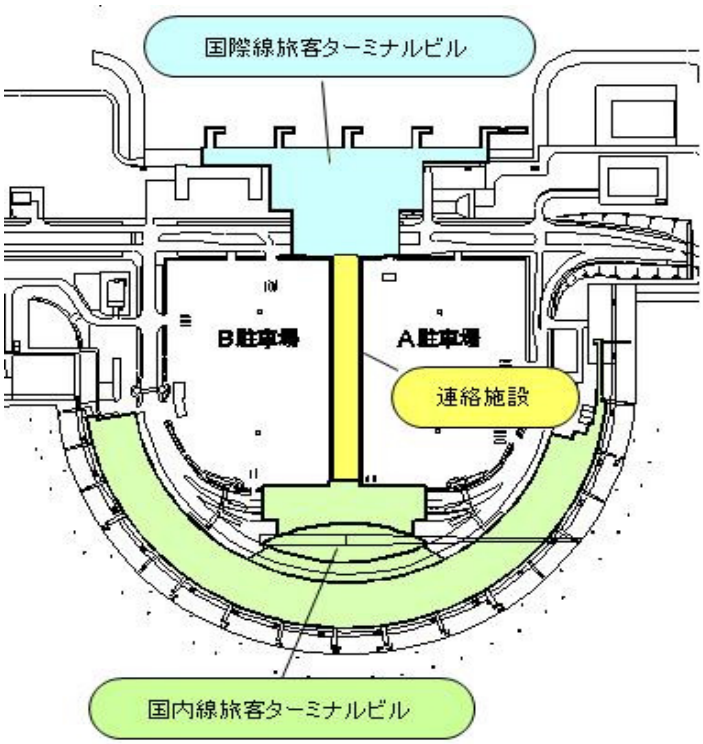
平成23年　7月　国内線増改築　供用開始（連絡施設全面供用開始）

国内線ターミナルビル　商業施設第1期オープン

平成23年12月　国内線ターミナルビル　商業施設第2期オープン

平成24年　3月　国内線ターミナルビル　3階エアサイド側オープン（予定）

2. 旅客ターミナルビル平面図



3. 主な所有施設

国内線旅客ターミナルビル

■ 施設規模

地下1階・地上4階建
（一部5階建）
延床面積　182,325m²
内周半径　224m
外周半径　279m
中央部分奥行　122m
円周部分奥行　55m
高さ　27m
鉄骨造一部鉄筋コンクリート造

(m²)

	延床面積	用　　途
地　下	23,808	JR連絡通路・倉庫・機械室等
1　階	43,641	バゲージクレーム・到着ロビー警察等
2　階	56,107	チケットロビー・出発ロビー・ホールディングルーム・物販店・センタープラザ・銀行等
3　階	36,624	飲食店・ホテル施設等
4　階	16,814	スーパーラウンジ・ホテル施設等
5　階	4,721	ホテル施設等
塔　屋	610	
合　計	182,325	

国際線旅客ターミナルビル

■ 施設規模

地下1階・地上4階建
延床面積　59,155m²
（官庁施設 10,394m²、
民間施設 48,761m²）
鉄骨造一部鉄筋コンクリート造

(m²)

	延床面積	用　　途
地　下	338	エレベーターピット・階段等
1　階	11,690	車寄せロビー・機械室・荷捌場
2　階	21,748	到着コンコース・官庁施設・到着ロビー・事務室等
3　階	19,051	出発ロビー・官庁施設・出発コンコース・免税店・事務室等
4　階	6,275	飲食店・機械室等
塔　屋	53	
合　計	59,155	

連絡施設

■ 施設規模

地下1階・地上4階建
延床面積　21,128m²
鉄骨造一部鉄筋コンクリート造

(m²)

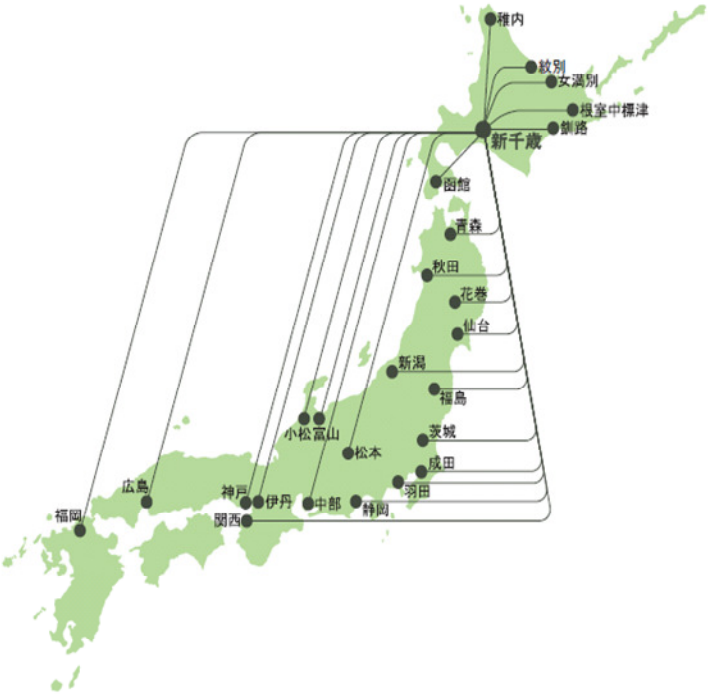
	延床面積	用　　途
地　下	224	ピット・階段室
1　階	1,815	機械室・エントランス
2　階	8,072	連絡通路・機械室
3　階	8,072	階段等
4　階	2,942	機械室・階段室
塔　屋	3	
合　計	21,128	

4. 航空ネットワークの状況（平成24年1月現在）

①国内線ネットワーク

25路線　142往復／日

路線	便 数	路線	便 数
羽田	55往復／日	松本	1往復／日
成田	6往復／日	小松	1往復／日
伊丹	3往復／日	茨城	2往復／日
関西	9往復／日	静岡※	1往復／日
神戸	5往復／日	広島	1往復／日
中部	12往復／日	福岡	3往復／日
青森	3往復／日	函館	2往復／日
花巻	3往復／日	紋別	1往復／日
秋田	2往復／日	釧路	3往復／日
仙台	13往復／日	女満別	5往復／日
新潟	3往復／日	稚内	2往復／日
福島	2往復／日	中標津	3往復／日
富山	1往復／日		
※月･水･金は2往復。		合計	142往復／日

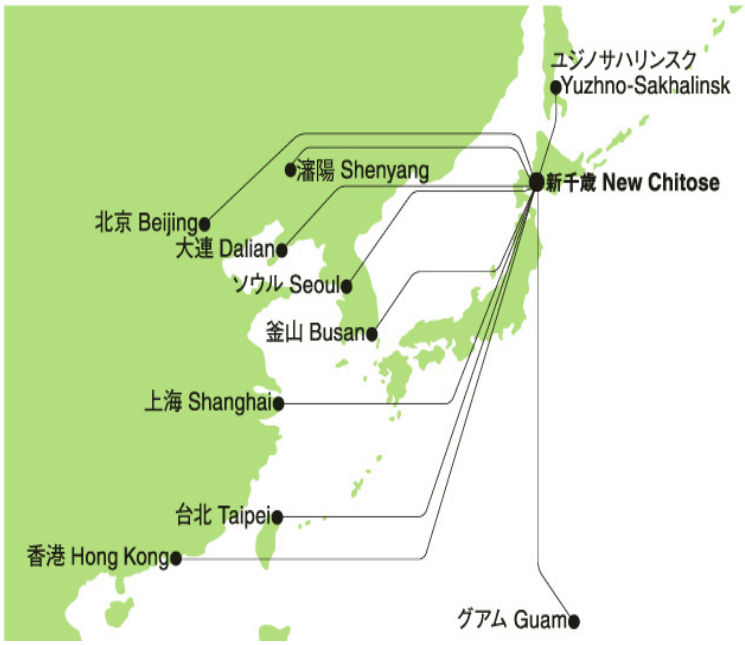


②国際線ネットワーク

10路線　70往復／週

路 線	便 数	航空会社
ソ ウ ル	14往復／週	大韓航空
	2往復／週	イースター航空※1
	7往復／週	ジンエアー※2
プ サ ン	3往復／週	大韓航空
北 京	3往復／週	中国国際航空
上 海	5往復／週	中国東方航空
大 連	2往復／週	中国南方航空
瀋 陽	0往復／週	中国南方航空※3
香 港	7往復／週	キャセイパシフィック航空
	4往復／週	香港エクスプレス航空
台 北	7往復／週	エバー航空
	7往復／週	中華航空
グ ア ム	7往復／週	コンチネンタル航空
ユジノサハリンスク	2往復／週	サハリン航空
合 計	70往復／週	

※1 平成23年5月5日就航。
※2 平成23年7月15日就航。
※3 平成23年5月11日より運休。



③旅客数の推移

（単位：千人）

年度	国内線	伸び率	国際線	伸び率	合計	伸び率	備考
平成元年度	12,315	12.5%	47	551.1%	12,362	12.9%	
平成２年度	13,390	8.7%	135	186.3%	13,525	9.4%	
平成３年度	14,294	6.7%	237	75.7%	14,531	7.4%	
平成４年度	14,438	1.0%	246	3.9%	14,685	1.0%	
平成５年度	14,410	▲0.2%	292	18.5%	14,702	0.1%	
平成６年度	14,750	2.3%	333	14.1%	15,084	2.6%	
平成７年度	15,326	3.9%	362	8.6%	15,689	4.0%	
平成８年度	15,912	3.8%	381	5.1%	16,294	3.8%	
平成９年度	16,583	4.2%	375	▲1.5%	16,959	4.0%	
平成１０年度	17,082	3.0%	412	10.0%	17,495	3.1%	
平成１１年度	18,123	6.1%	438	6.2%	18,561	6.1%	
平成１２年度	17,426	▲3.8%	452	3.2%	17,879	▲3.6%	有珠山噴火
平成１３年度	18,038	3.5%	458	1.2%	18,496	3.4%	米国同時多発テロ
平成１４年度	18,422	2.1%	507	10.7%	18,930	2.3%	
平成１５年度	17,595	▲4.4%	412	▲18.7%	18,007	▲4.8%	SARS 発生、ｲﾗｸ戦争
平成１６年度	17,104	▲2.7%	589	43.0%	17,694	▲1.7%	新潟中越地震
平成１７年度	17,110	0.0%	625	6.1%	17,736	0.2%	
平成１８年度	17,768	3.8%	777	24.2%	18,546	4.5%	
平成１９年度	17,461	▲1.7%	844	8.4%	18,305	▲1.3%	ｻﾌﾞﾌﾟﾗｲﾑﾛｰﾝ問題
平成２０年度	16,515	▲5.4%	786	▲6.8%	17,301	▲5.4%	ﾘｰﾏﾝ･ｼｮｯｸ、金融危機
平成２１年度	15,741	▲4.6%	845	7.5%	16,587	▲4.1%	新型インフル流行
平成２２年度	15,503	▲1.5%	946	11.9%	16,449	▲0.8%	尖閣問題、東日本大震災